

2006年度(2007年3月期) 通期(第4四半期) 決算説明会

2007年 4月26日

セイコーエプソン株式会社

将来見通しに係わる記述についての注意事項

本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。

そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる要素としては、日本および海外の経済情勢、市場におけるエプソンの新商品・新サービスの開発・提供とそれらに対する需要の動向、価格競争を含む他社との競合、テクノロジーの変化、為替の変動などが含まれます。

なお、業績等に影響を与えうる要素は、これらに限定されるものではありません。

本説明資料における表示方法

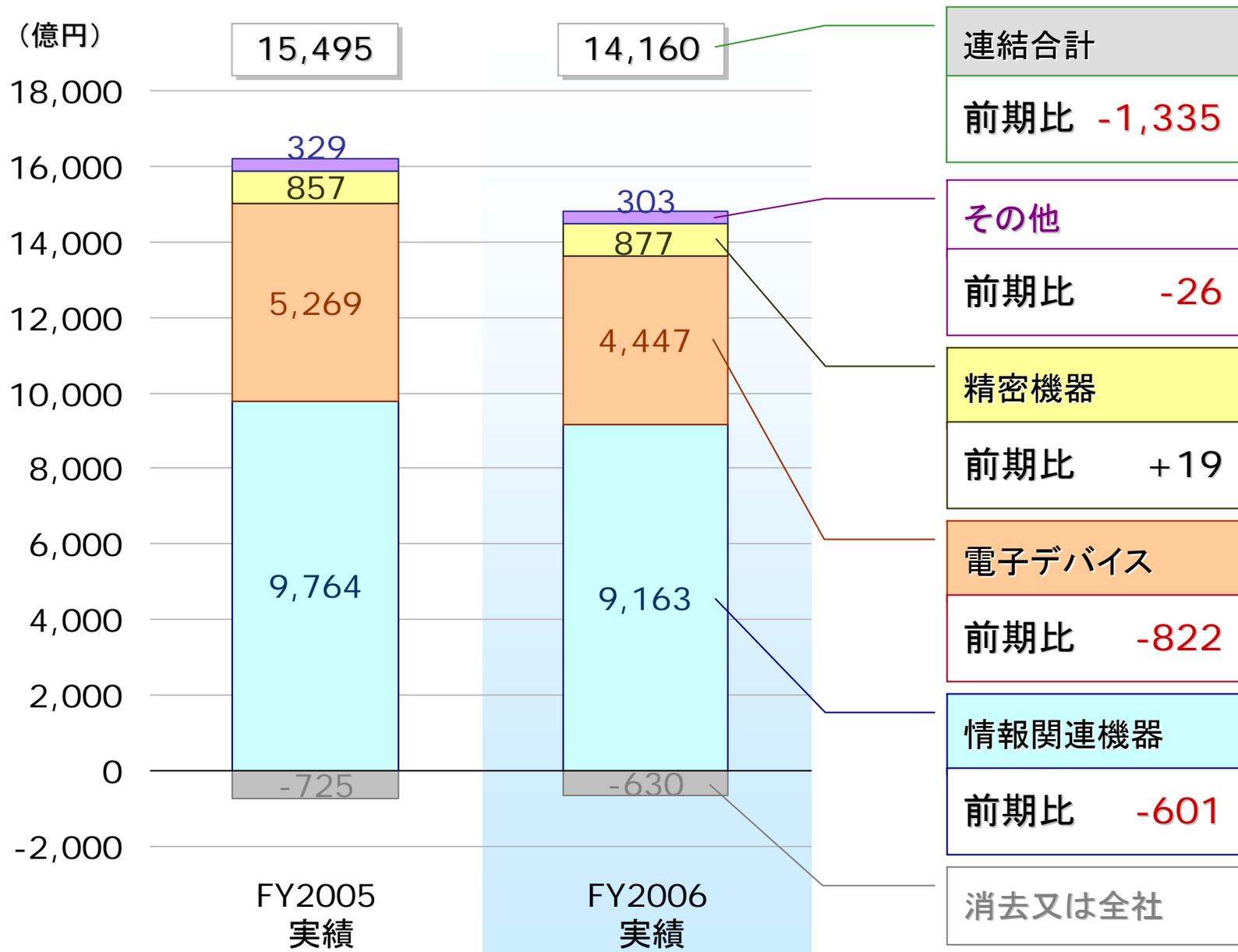
数値： 表示単位未満を切り捨て

比率： 千円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入

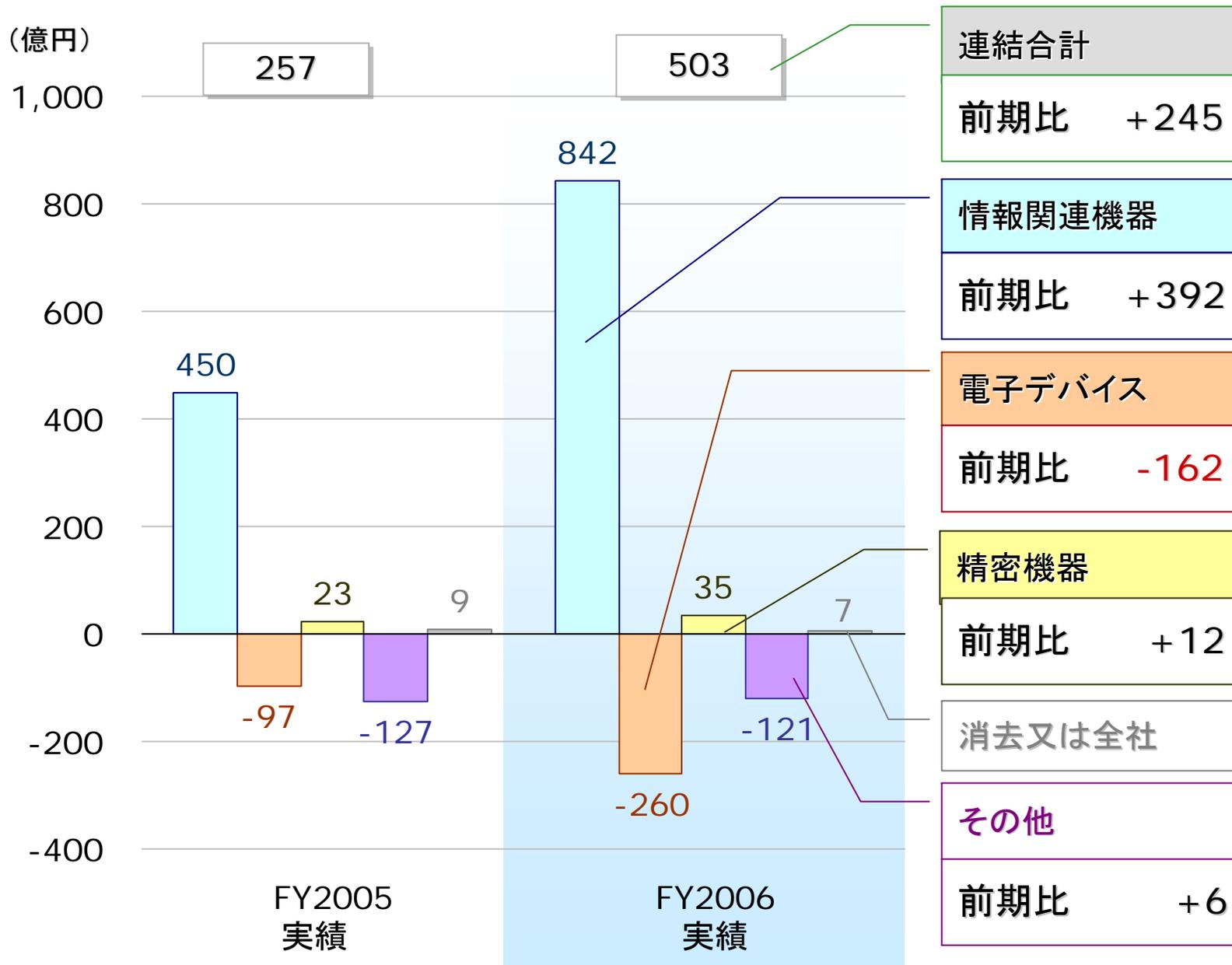
1. 概要ご説明

2. 詳細ご説明

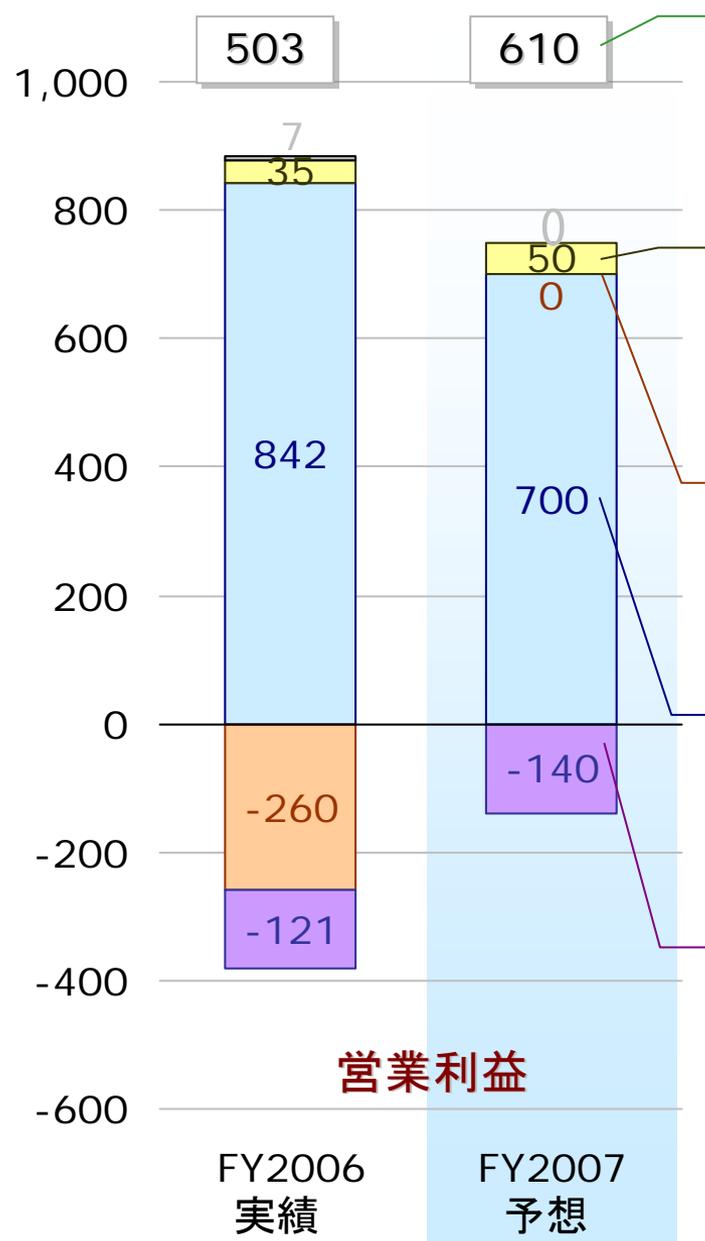
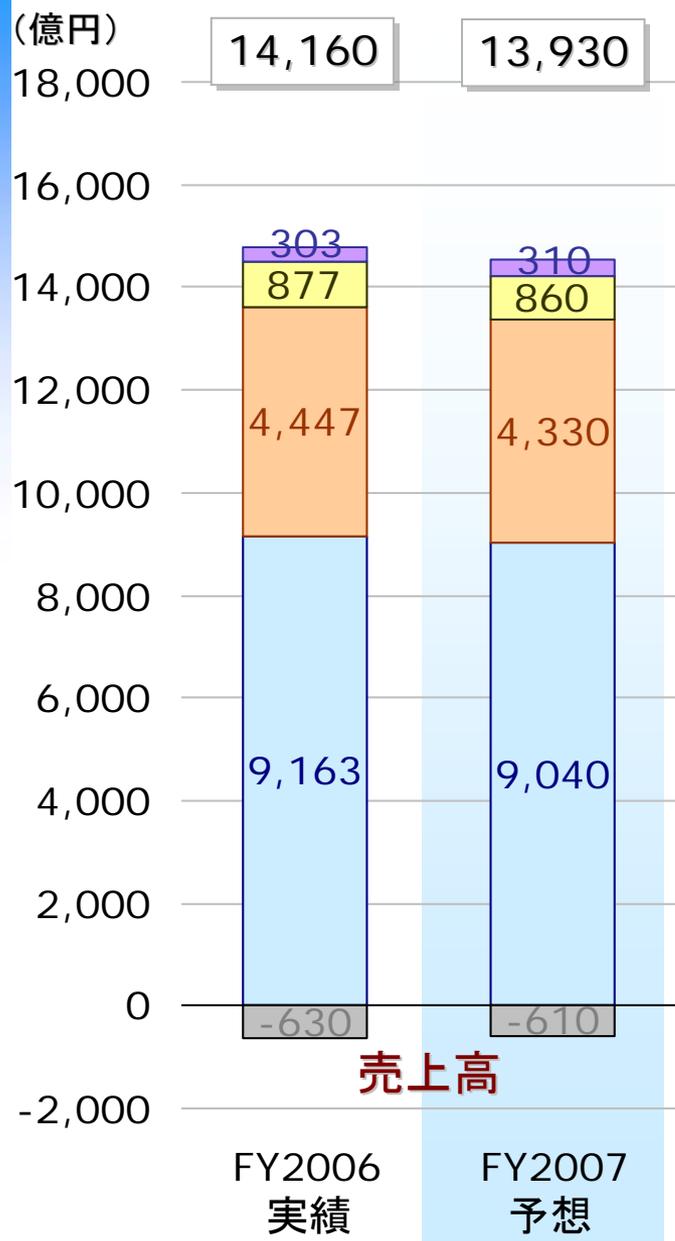
2006年度業績(売上高)▶事業セグメント別



2006年度業績(営業利益)▶事業セグメント別



2007年度業績予想▶事業セグメント別



連結合計	売上高	-230
	営業利益	+106
精密機器	売上高	-17
	営業利益	+14
電子デバイス	売上高	-117
	営業利益	+260
情報関連機器	売上高	-123
	営業利益	-142
その他	売上高	+6
	営業利益	-18
消去又は全社		

中期経営計画・創造と挑戦1000

一年次・2006年度の総括

競争激化によるマイナス部分があったものの
コストダウン、外部要員の削減活動、固定費構造改革の効果、
為替差益により、ディスプレイ事業を除くすべての事業で、
営業利益が前年度を上回る

二年次・2007年度の取り組み

一年次に取り組んだ成果をもとに、
2008年度の売上高成長、
中期利益目標、経常利益
1000億円以上の達成に向け、取り組む

2007年度予想

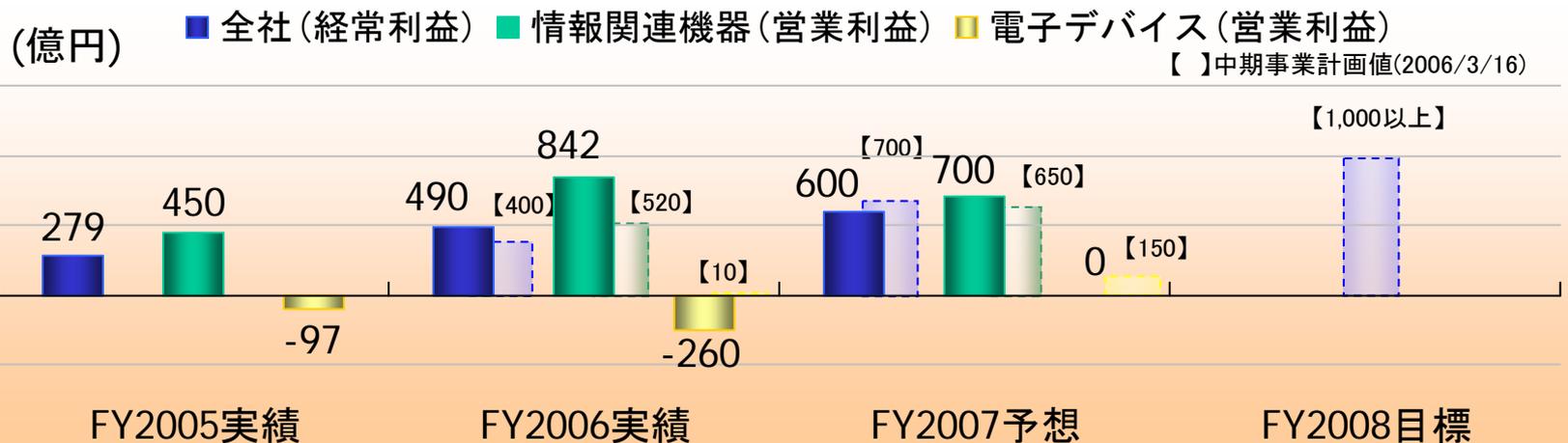
売上高	13,930億円
営業利益	610億円
経常利益	600億円

2007年度予想のポイント

売上高



経常利益(セグメントは営業利益)



情報関連機器セグメント

インクジェットプリンタ

2006年度の取り組みの成果

- ✓コストダウン、固定費削減などの事業基盤の強化
- ✓地域の特性に則した最適なマーケティング戦略

2007年度の取り組み

- ✓短期的な収益と中期的な成長を見据えたバランスある取り組み
- ✓将来の消耗品売上を意識した、本体の販売数量の拡大に取り組み
 1. プリントボリューム、各マーケットの特性にあわせた、きめ細かなマーケティング戦略
 2. 特に、欧米市場において、市場動向に柔軟な対応
 3. コストダウンの徹底推進
- ✓中期的に収益の柱となる、ビジネス・産業分野への着実な取り組み

ビジネスシステム

- ✓従来ビジネスに加え、クーポンプリンタ、ミニラボなどの新規分野への確実な取り組み

プロジェクター

- ✓成長市場であるビジネス・教育向けへの確実な取り組み

電子デバイスセグメント

中・小型液晶ディスプレイ

2006年度の取り組みの成果

- ✓コストダウンの実施、固定費削減の事業基盤の強化
- ✓3月14日発表のディスプレイ事業構造改革への取り組み →戦略の明確化
【C-STNの完全ローカル化、MD-TFDの2007年度中の終結、a-TFT/LTPS:リソースの集中】

2007年度の取り組み

- ✓携帯電話向け、および新規アプリケーションの確実な取り込み
 1. 顧客に密着した営業活動
 2. 新技術の確実な取り組み、顧客信頼の回復
 3. コストダウンの徹底推進

HTPS

- ✓HTPSは、プロジェクター市場の成長を、確実に取り込み

水晶

- ✓水晶は、3つのデバイス(タイミング・センシング・オプト)を核に、技術・アプリケーション両面においてバランスのとれた事業運営

半導体

- ✓当社の強みである低パワーアナログ混載技術を活かした複合商品などへの取り組み

1. 概要ご説明

2. 詳細ご説明

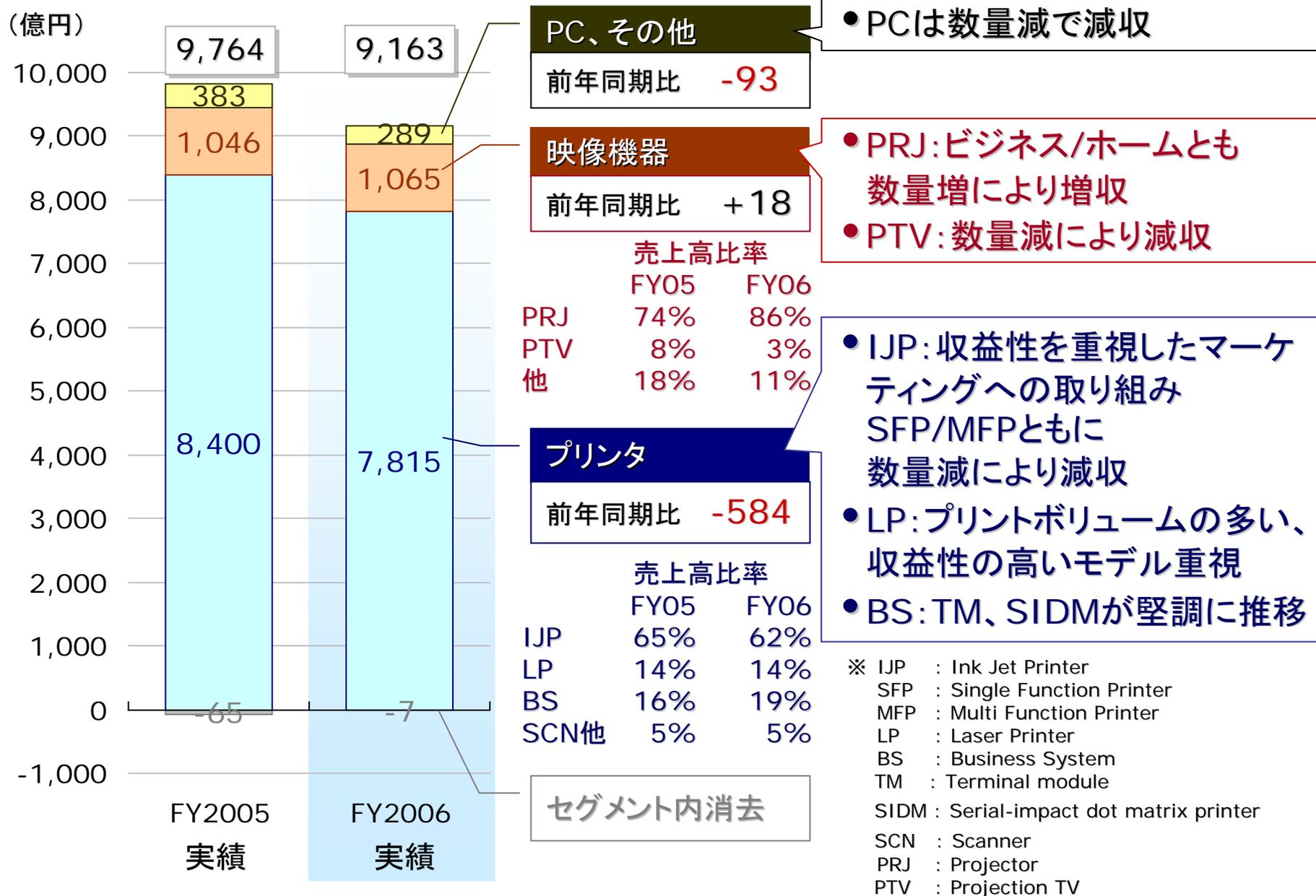
1) 2006年度決算

2) 2007年度業績予想

決算ハイライト(通期)▶前期比

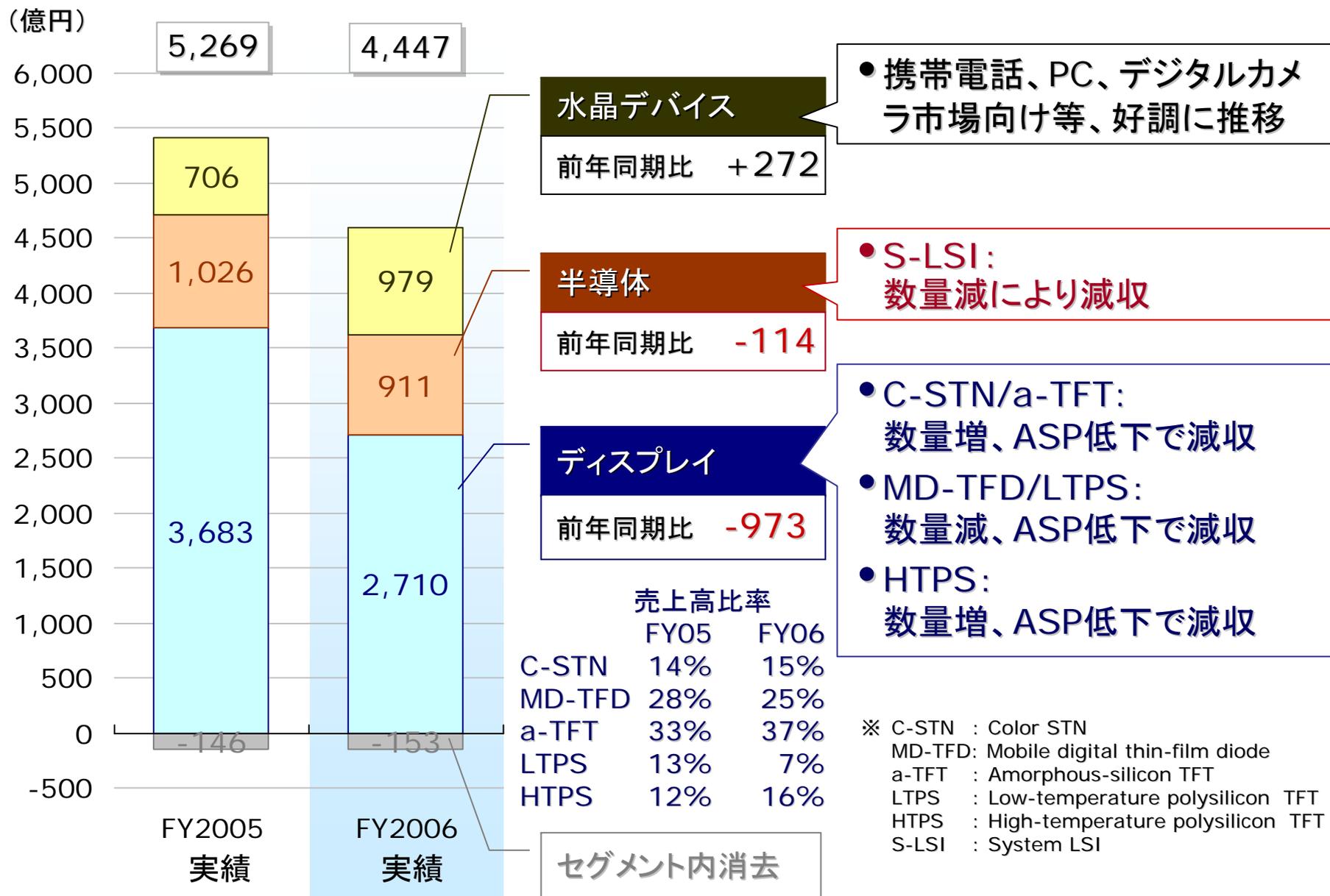
(億円)	2005年度		2006年度				増減額 増減率	
	実績	%	3/14予想	%	実績	%	前期 実績比	3/14 予想比
売上高	15,495	-	14,140	-	14,160	-	-1,335 -8.6%	+20 +0.1%
営業利益	257	1.7%	500	3.5%	503	3.6%	+245 +95.5%	+3 +0.7%
経常利益	279	1.8%	480	3.4%	490	3.5%	+211 +75.4%	+10 +2.3%
税引前利益	△200	-1.3%	0	0.0%	34	0.2%	+235 -	+34 -
当期純利益	△179	-1.2%	△180	-1.3%	△70	-0.5%	+108 -	+109 -
EPS	△91.24 円		△91.67 円		△36.13 円			
換 算 レ ー ト	USD	113.31 円	117.00 円		117.02 円			
	EUR	137.86 円	150.00 円		150.09 円			

売上高比較(通期)▶情報関連機器セグメント

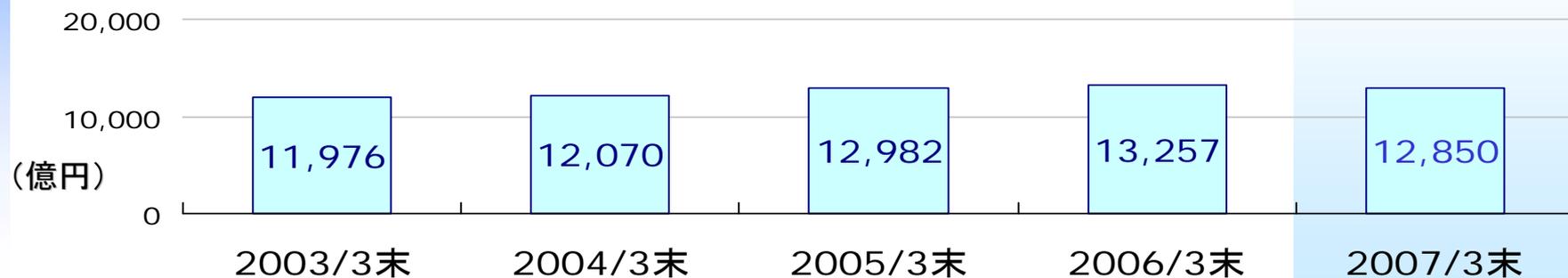


- PCは数量減で減収
- PRJ:ビジネス/ホームとも数量増により増収
- PTV:数量減により減収
- IJP:収益性を重視したマーケティングへの取り組み SFP/MFPともに数量減により減収
- LP:プリントボリュームの多い、収益性の高いモデル重視
- BS:TM、SIDMが堅調に推移

売上高比較(通期)▶電子デバイスセグメント



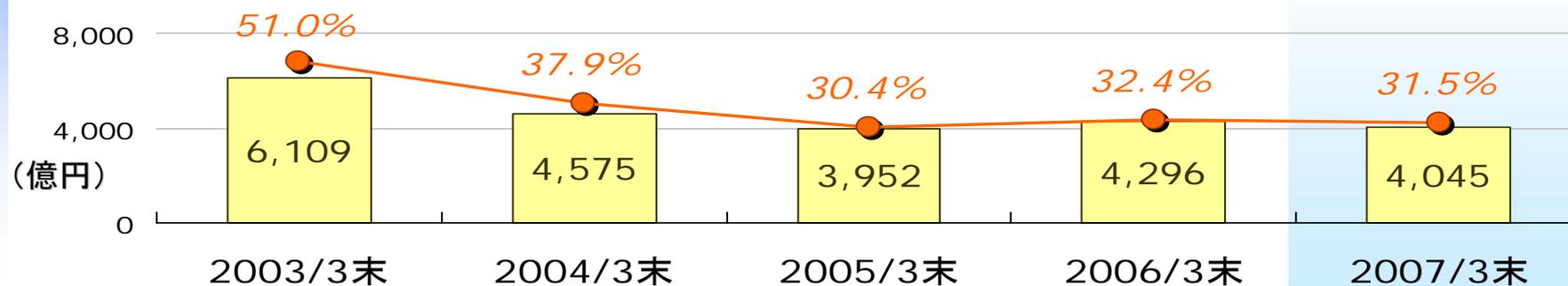
総資産



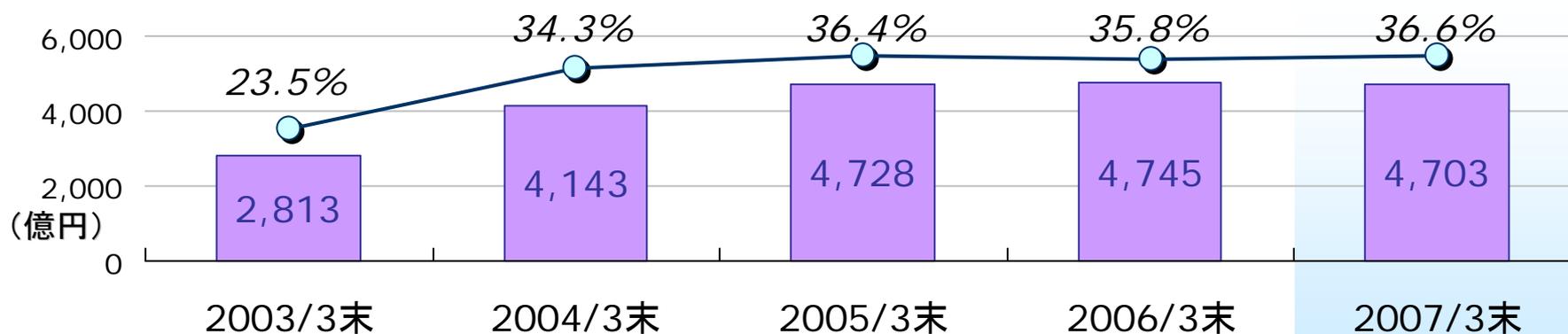
たな卸資産



有利子負債・有利子負債依存度



自己資本・自己資本比率

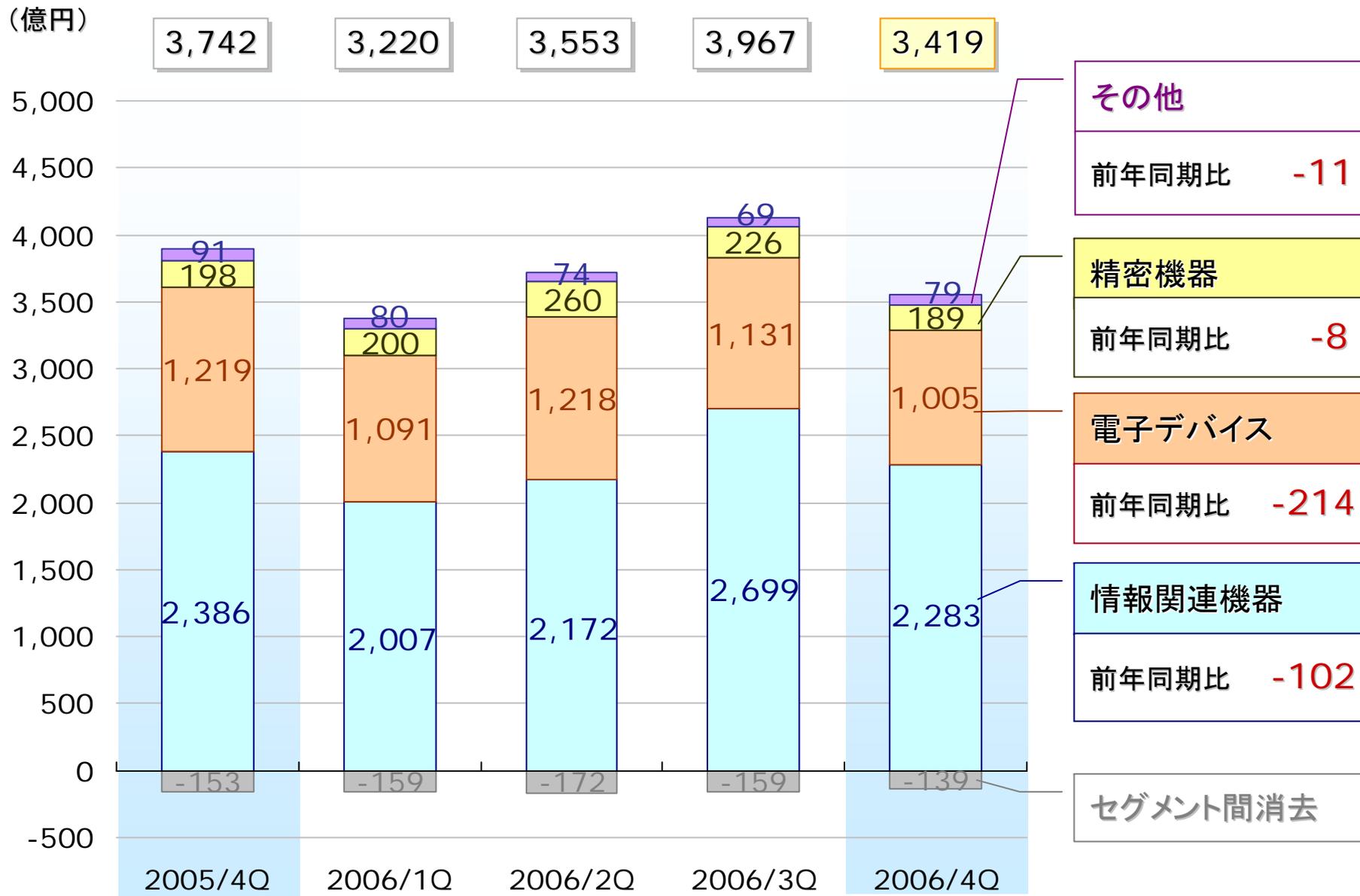


*会計基準の変更にともない、名称を自己資本に変更
 2007/3末: 自己資本 = 純資産合計 - 少数株主持分

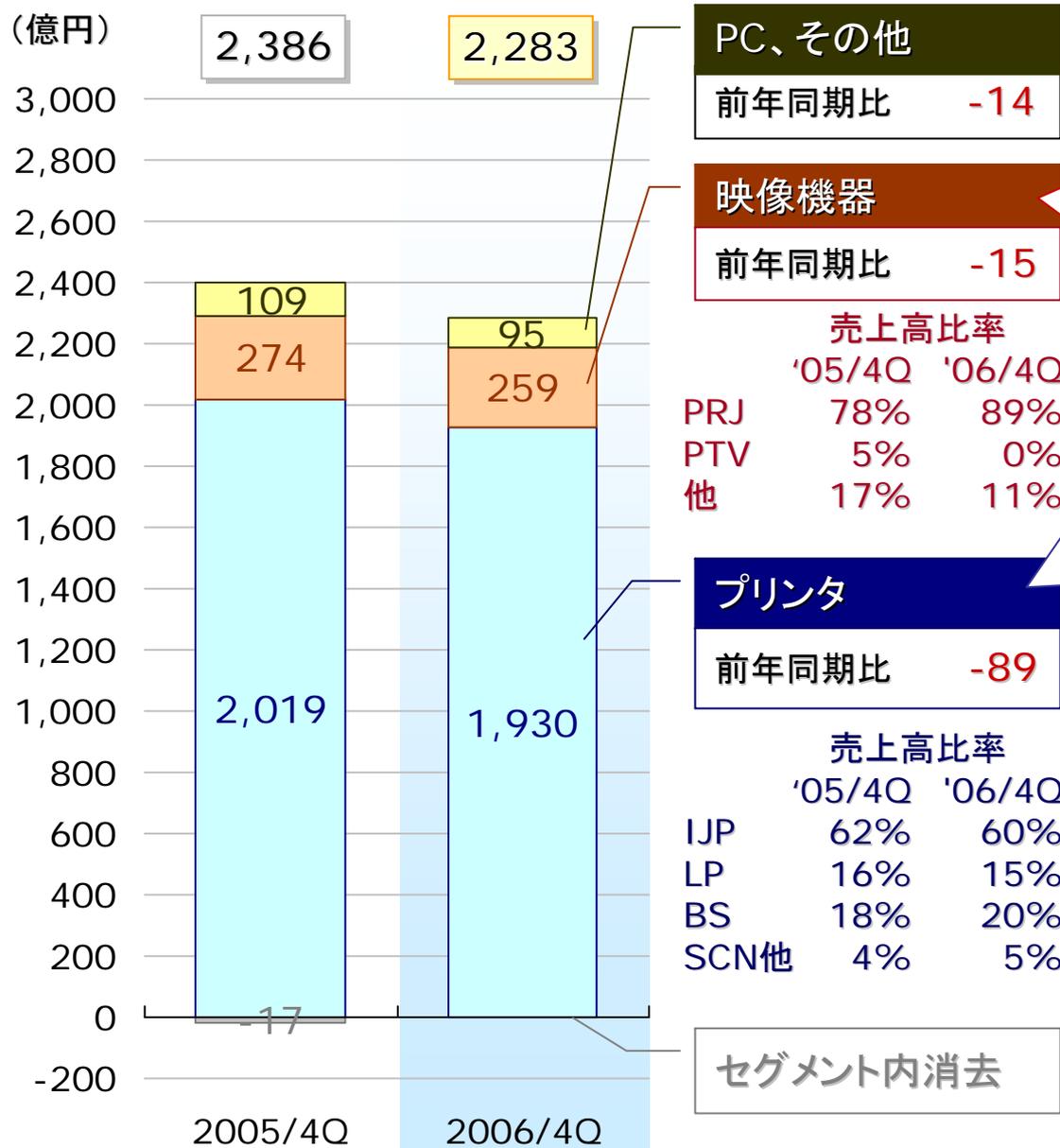
決算ハイライト(第4四半期決算)▶前年同期比

(億円)		2005年度		2006年度		増減	
		4Q実績	%	4Q実績	%	増減額	増減率
売上高		3,742	-	3,419	-	-322	-8.6%
営業利益		26	0.7%	40	1.2%	+13	+52.7%
経常利益		11	0.3%	40	1.2%	+28	+247.4%
税引前利益		△399	-10.7%	△366	-10.7%	+33	-
四半期純利益		△258	-6.9%	△210	-6.2%	+48	-
換算 レート	USD	116.94円		119.52円			
	EUR	140.70円		156.50円			

四半期売上高推移▶事業セグメント別



四半期売上高比較▶情報関連機器セグメント

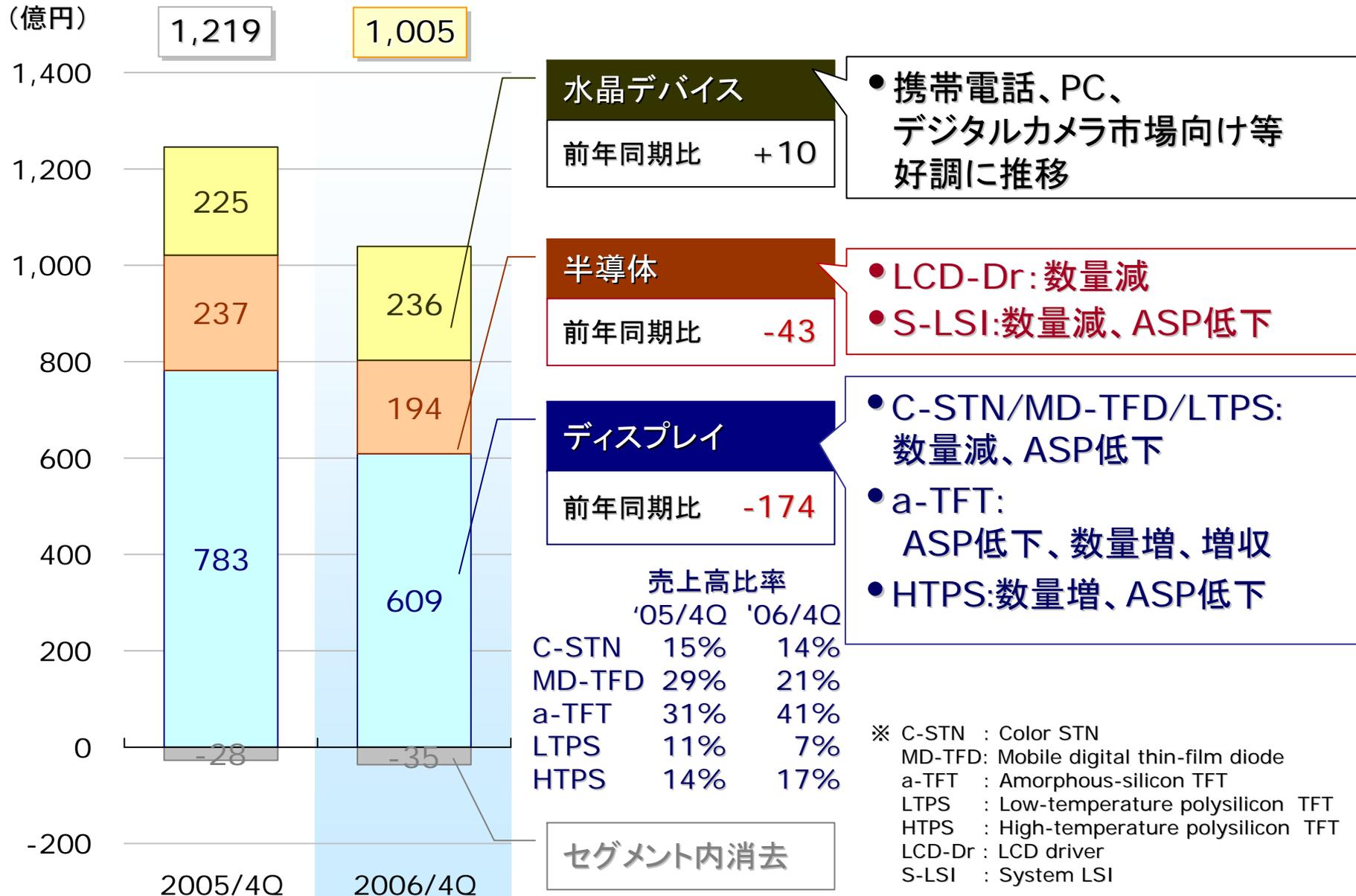


● フロントPRJ:ビジネス向け、順調に推移、PTV:数量減により減収

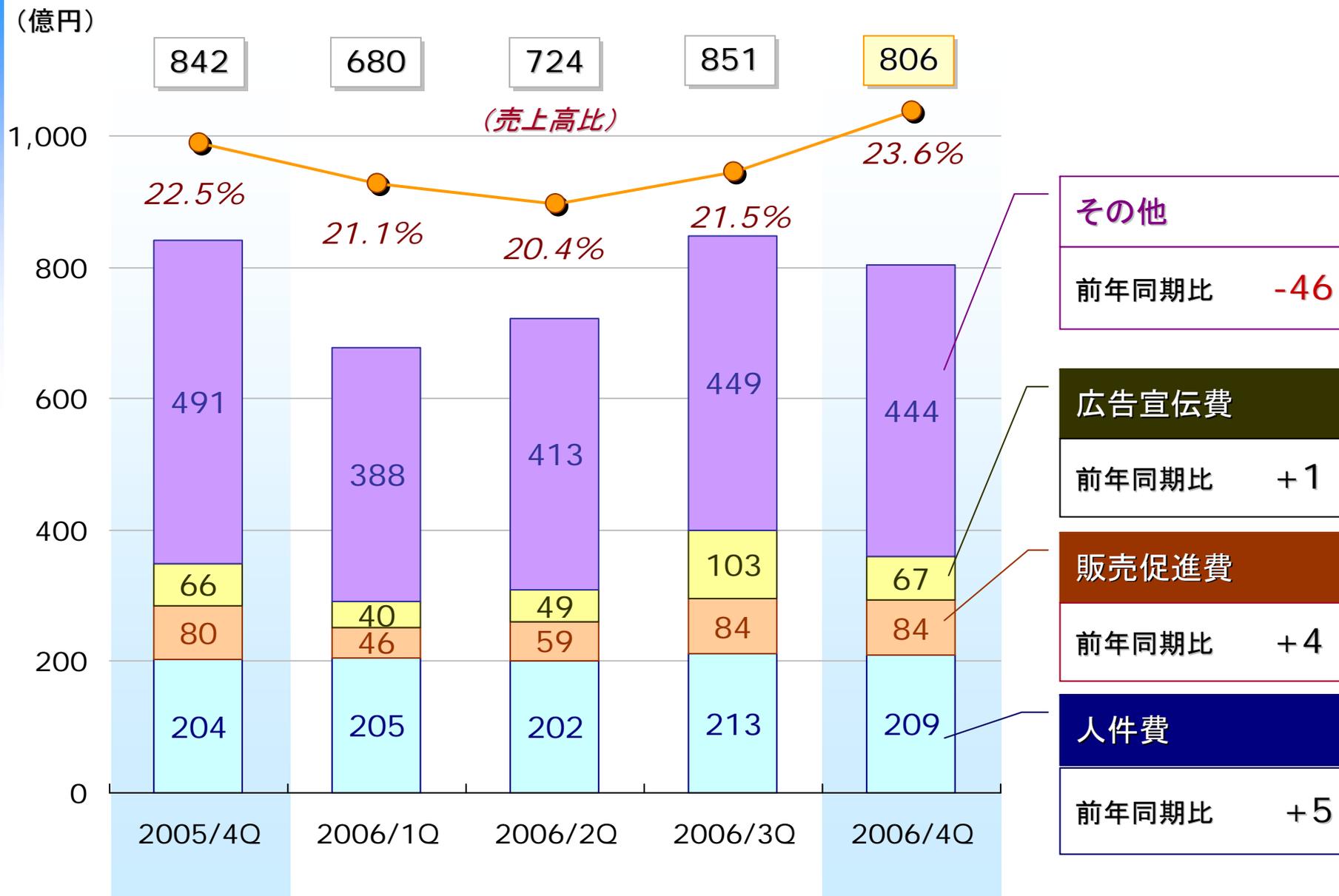
● IJP:販売数量減
● LP:プリントボリュームの多い、収益性の高いモデル重視
● BS:TMが堅調に推移

※ IJP : Inkjet printer
LP : Laser printer
BS : Business systems
TM : Terminal module
SCN : Scanner
PRJ : Projector
PTV : Projection TV

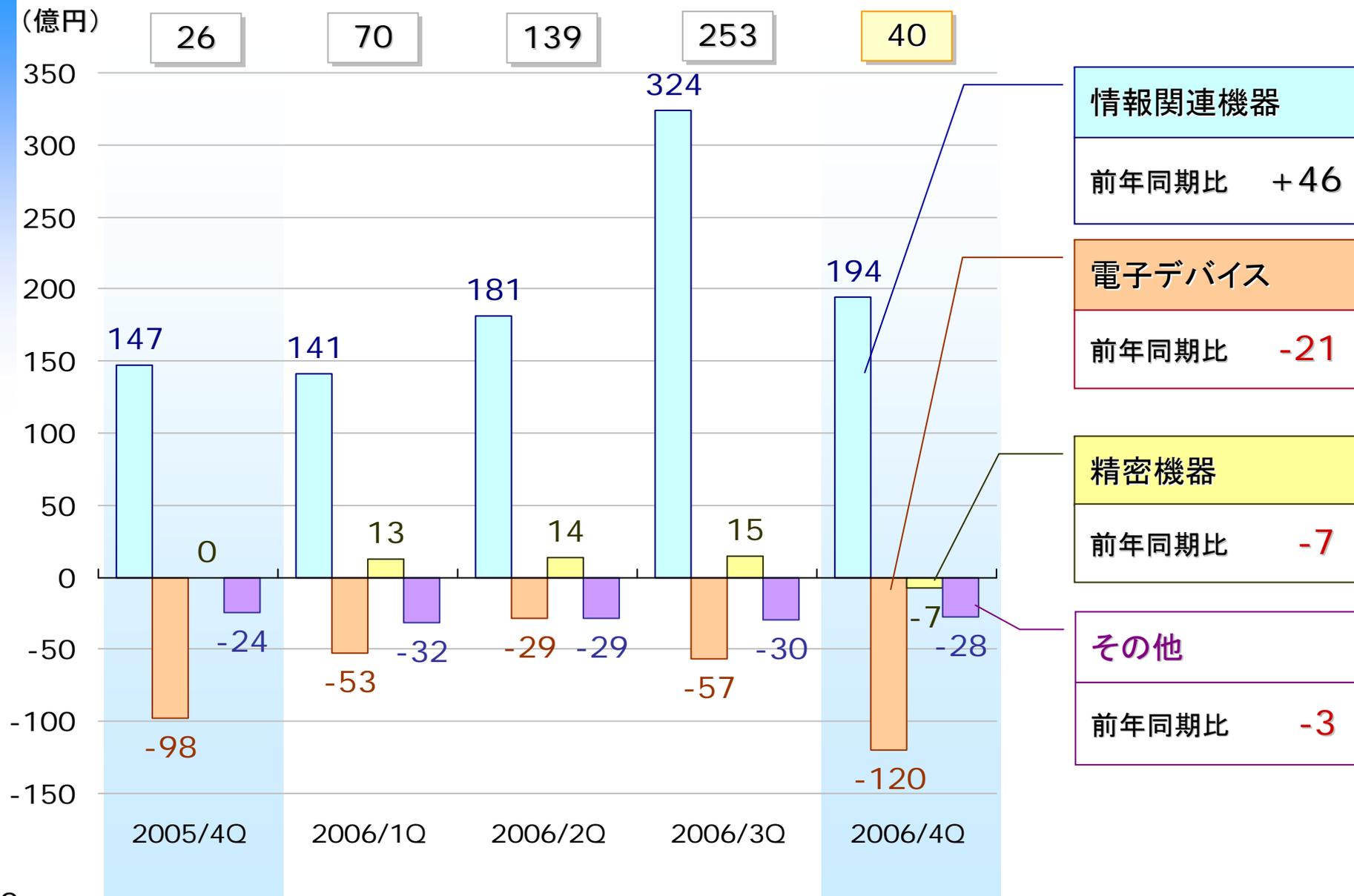
四半期売上高比較▶電子デバイスセグメント



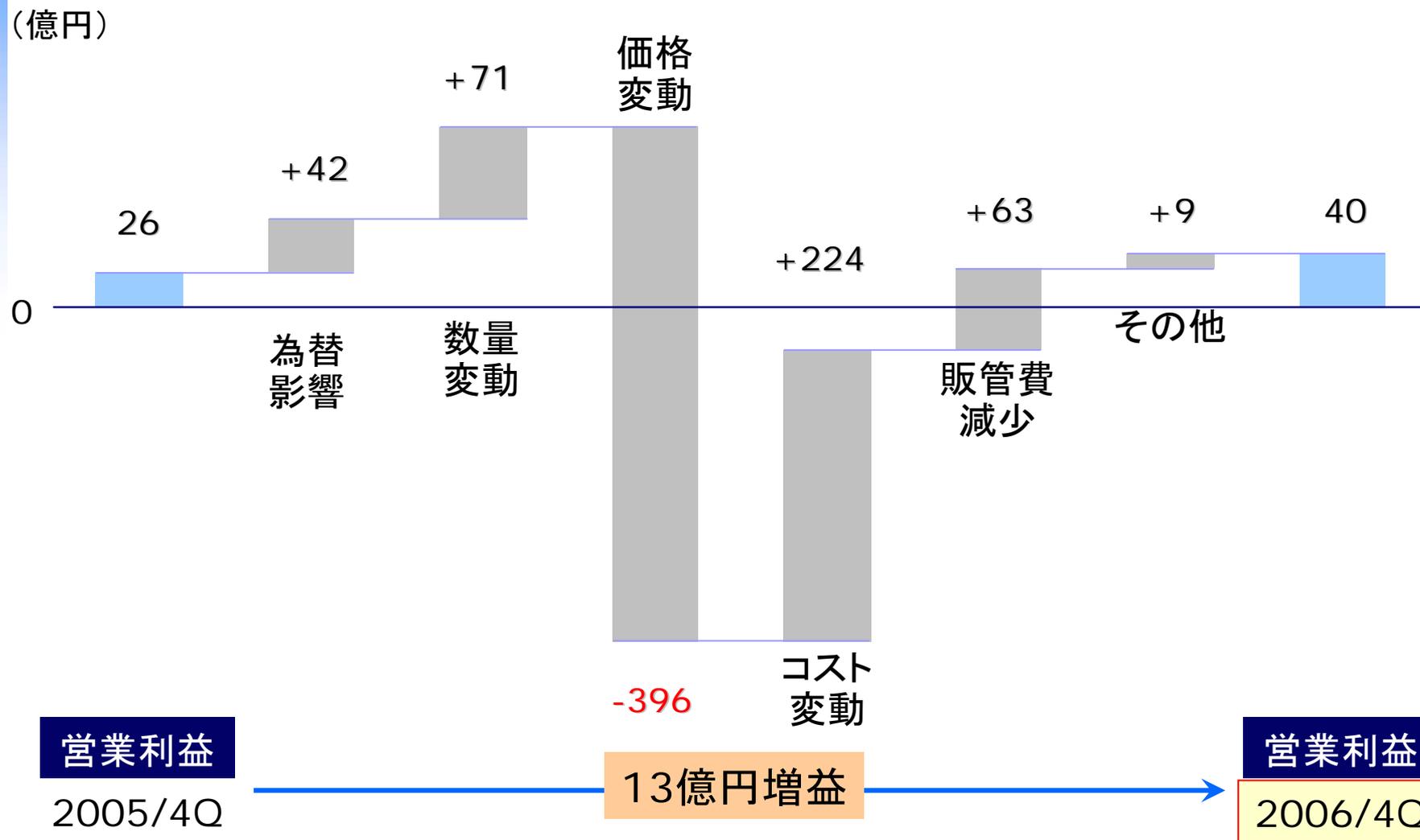
四半期販売費及び一般管理費推移



四半期営業利益推移▶事業セグメント別



営業利益増減要因分析



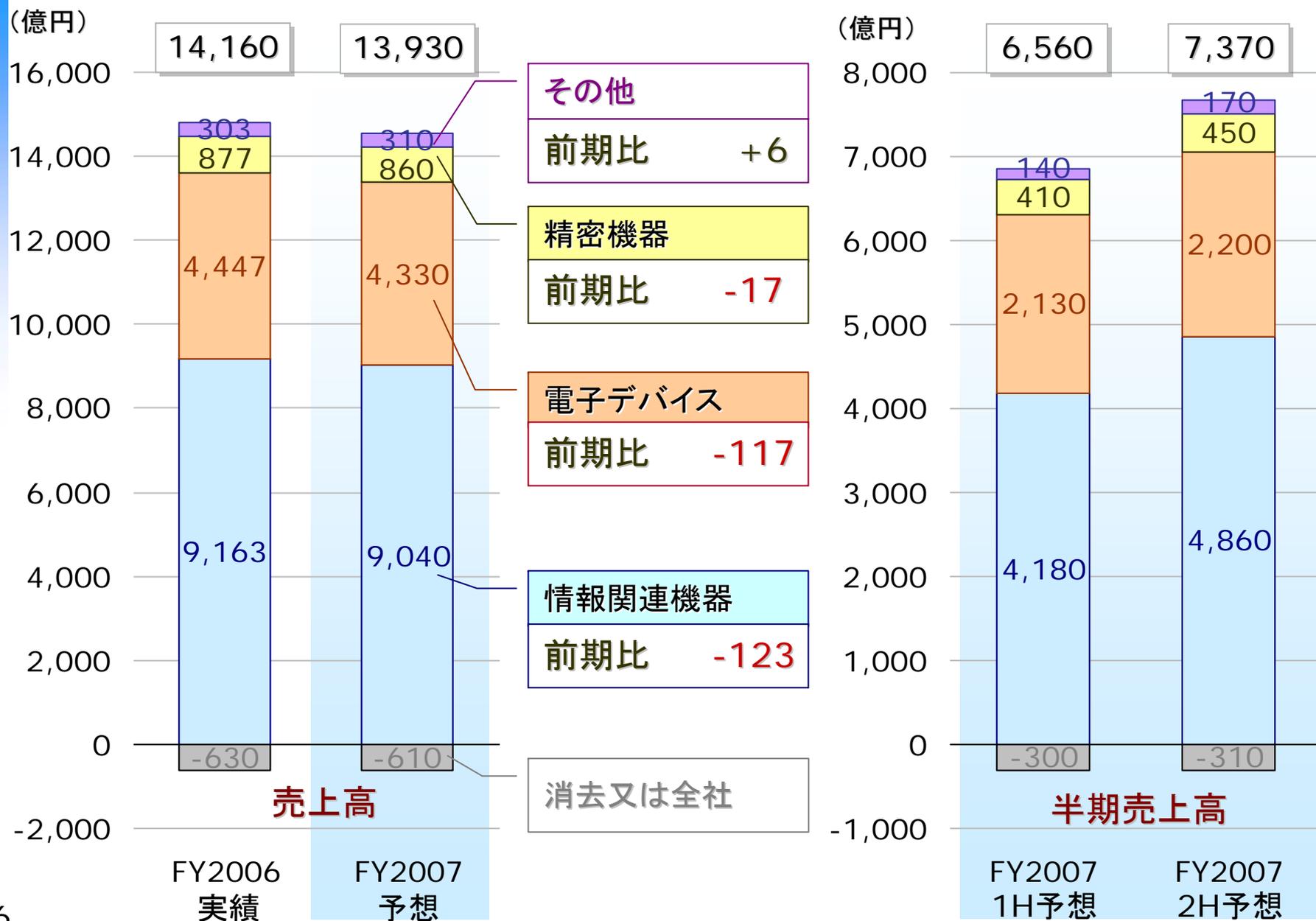
1) 2006年度決算

2) 2007年度業績予想

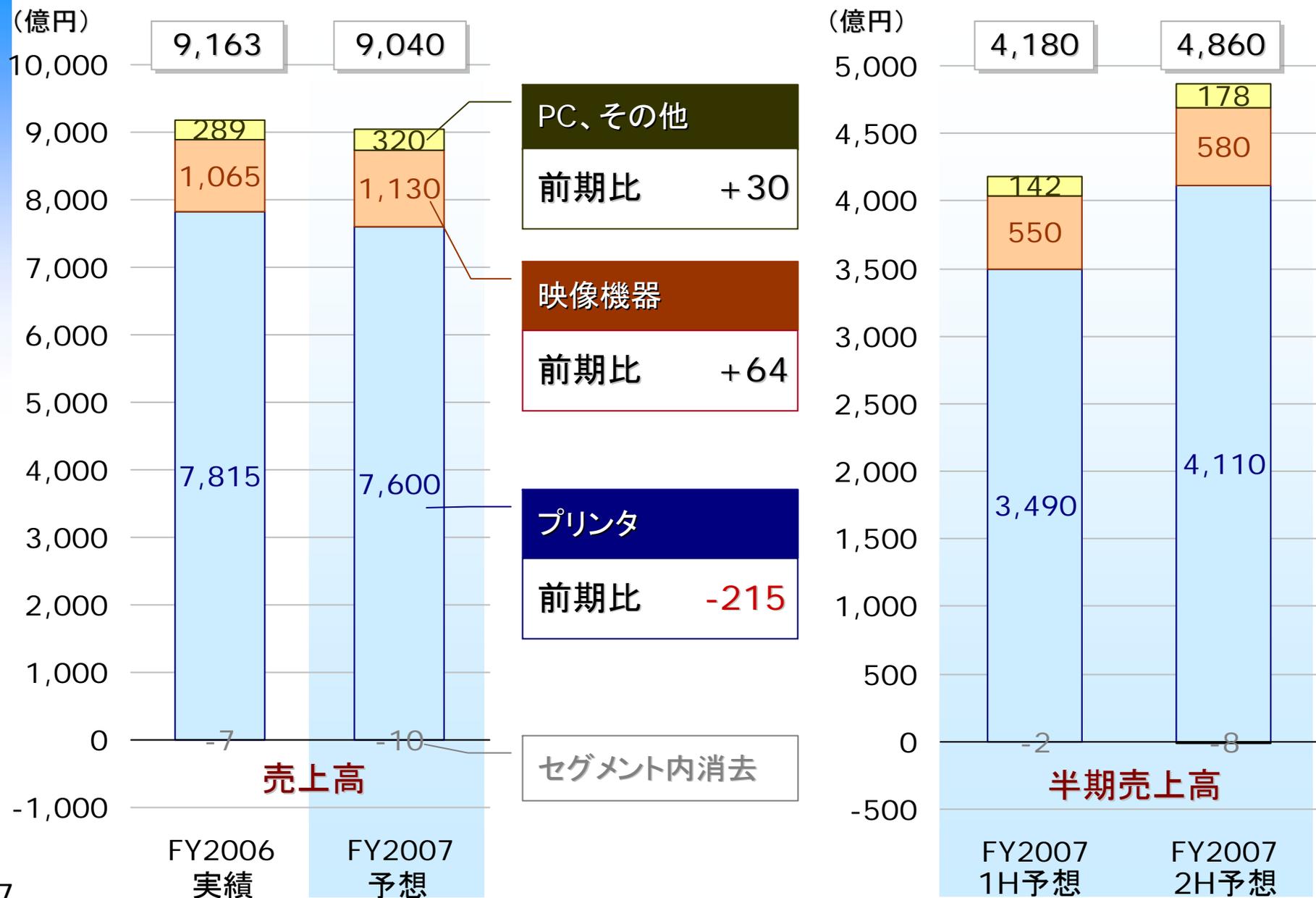
2007年度業績予想▶前期比

(億円)	2006年度		2007年度		増減	
	実績	売上高比	予想	売上高比	増減額	増減率
売上高	14,160	-	13,930	-	-230	-1.6%
営業利益	503	3.6%	610	4.4%	+106	+21.2%
経常利益	490	3.5%	600	4.3%	+109	+22.2%
税引前利益	34	0.2%	550	3.9%	+515	+1482.6%
当期純利益	△70	-0.5%	300	2.2%	+370	-
EPS	△36.13 円		152.78 円			
換算 レート	USD	117.02円	114.00円			
	EUR	150.09円	148.00円			

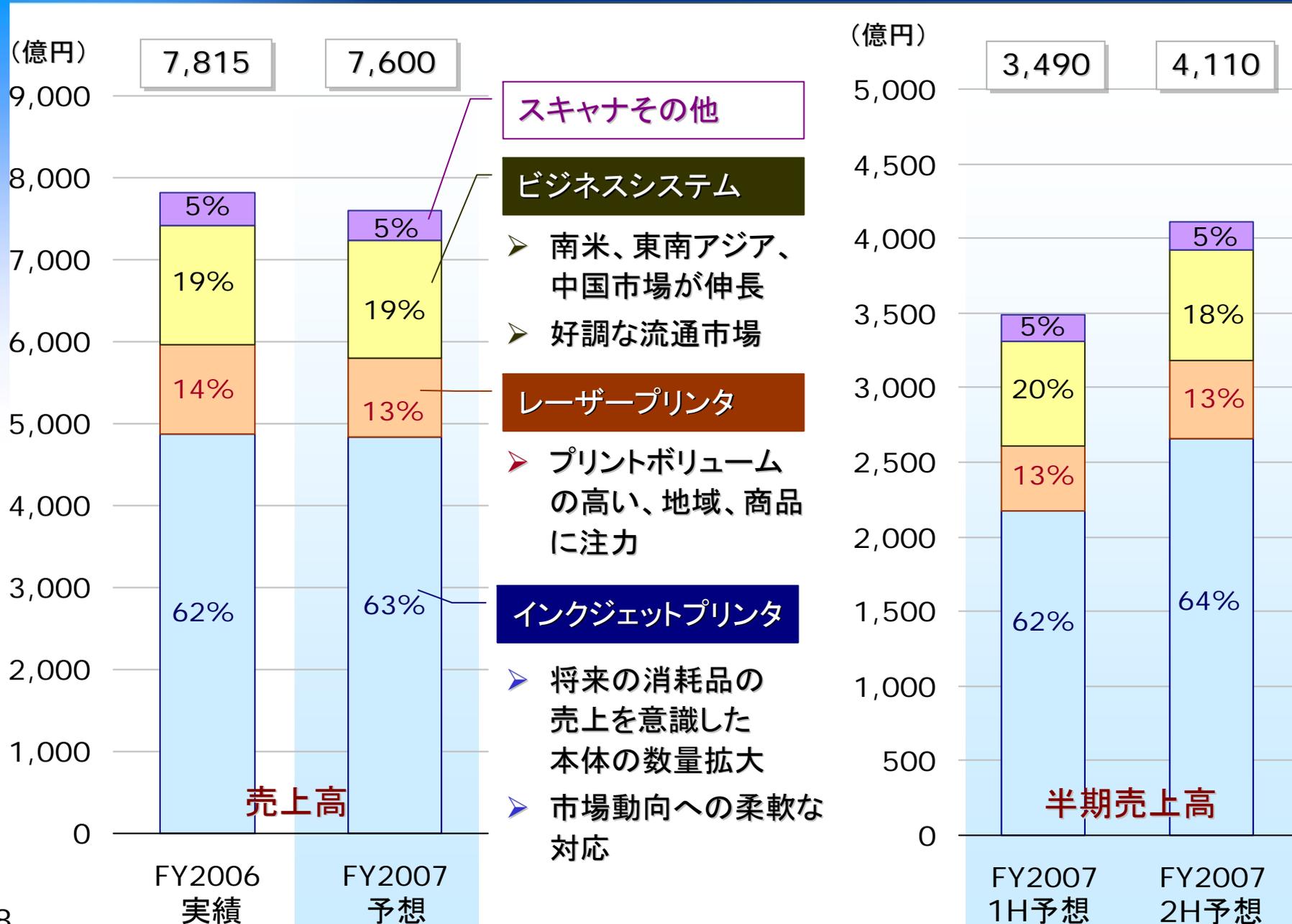
2007年度業績予想(売上高)▶事業セグメント別



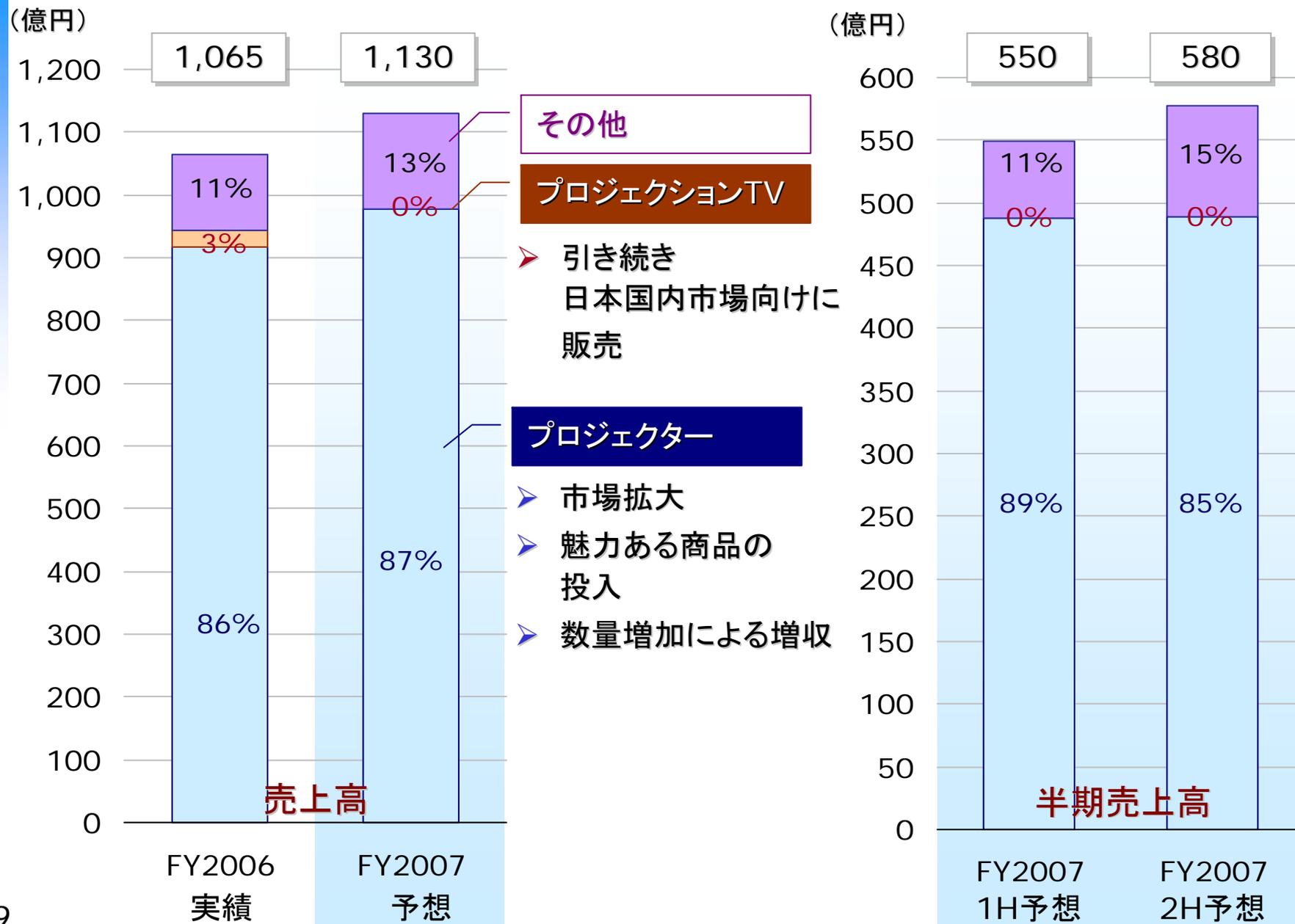
事業別売上高予想▶情報関連機器セグメント



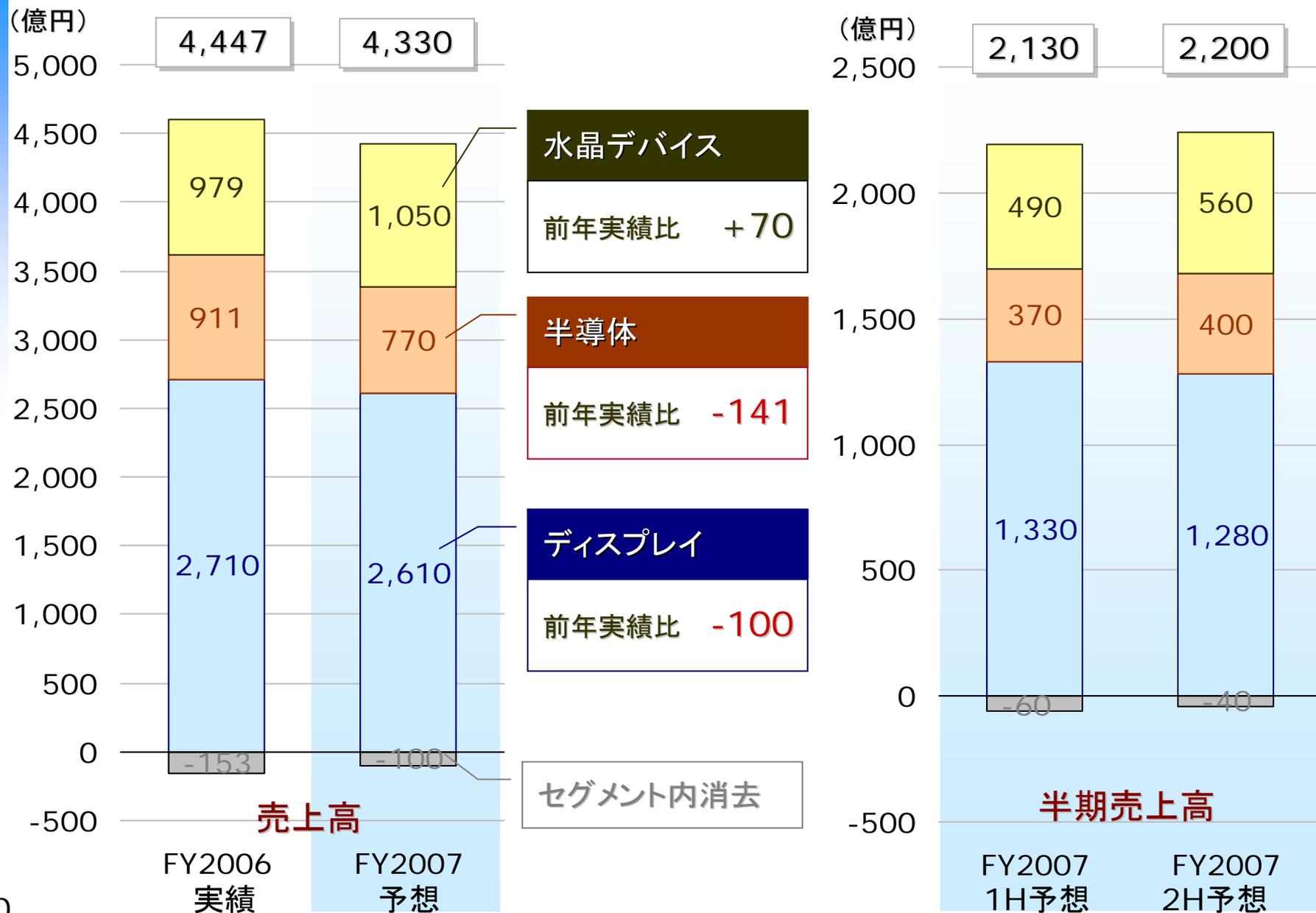
事業別売上高予想▶プリンタ事業



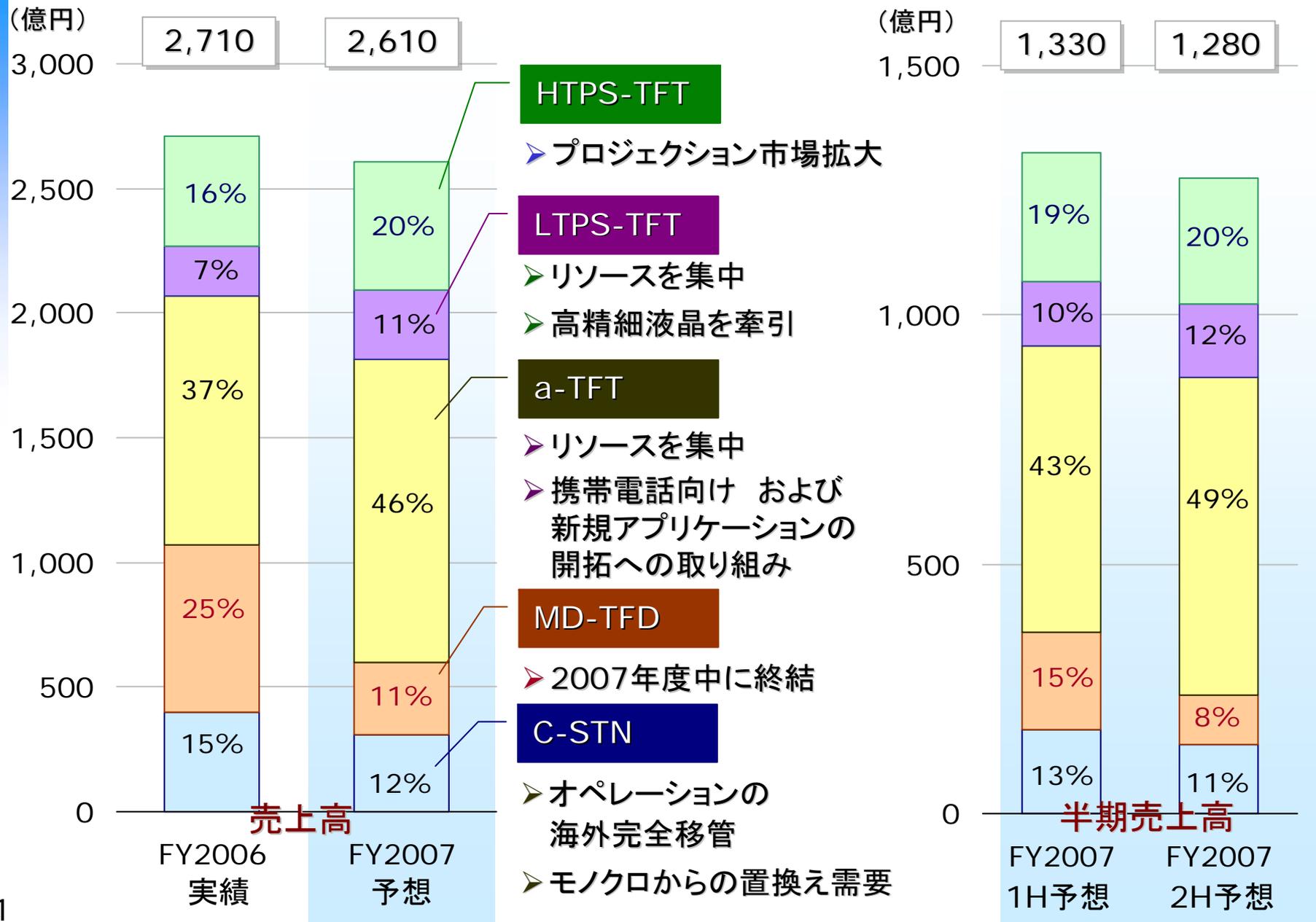
事業別売上高予想▶映像機器事業



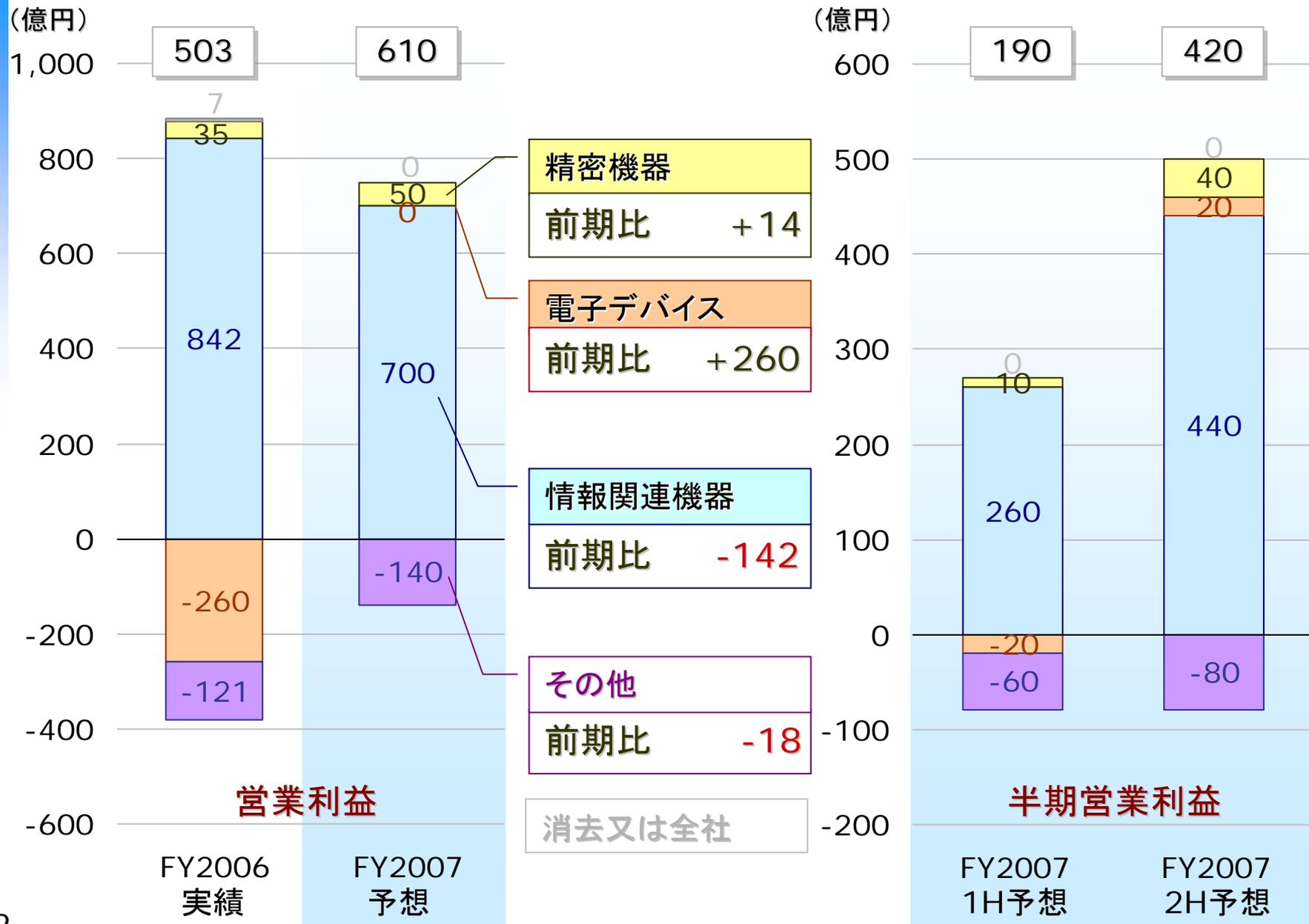
事業別売上高予想▶電子デバイスセグメント



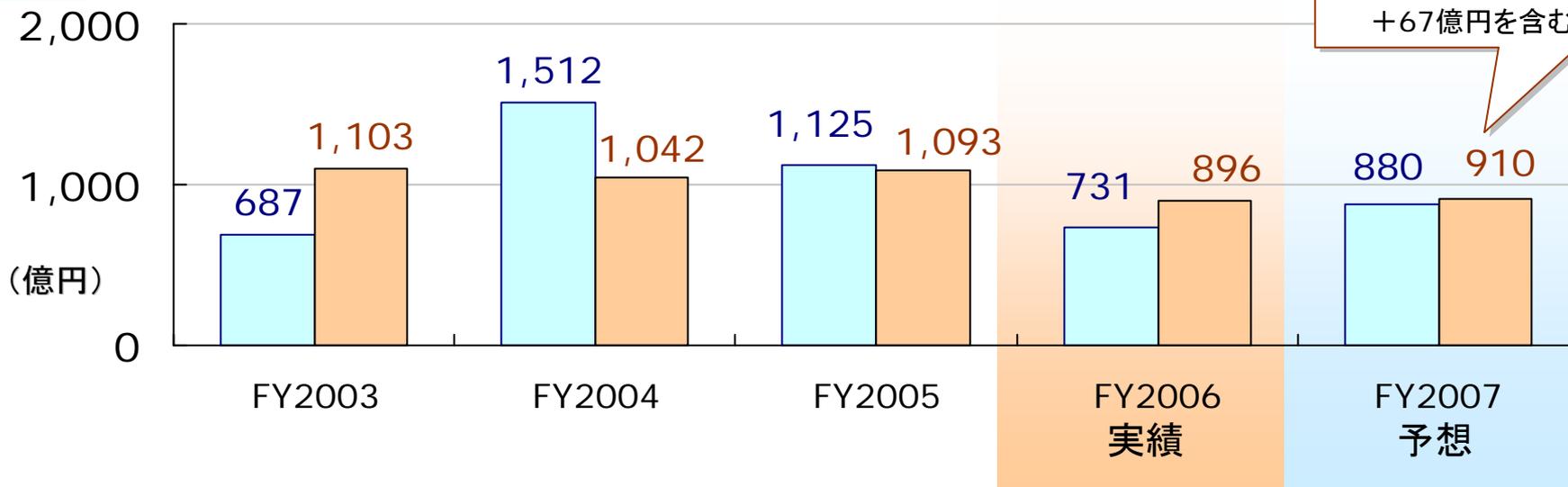
事業別売上高予想▶ディスプレイ事業



2007年度業績予想(営業利益) ▶ 事業セグメント別



設備投資 / 減価償却費

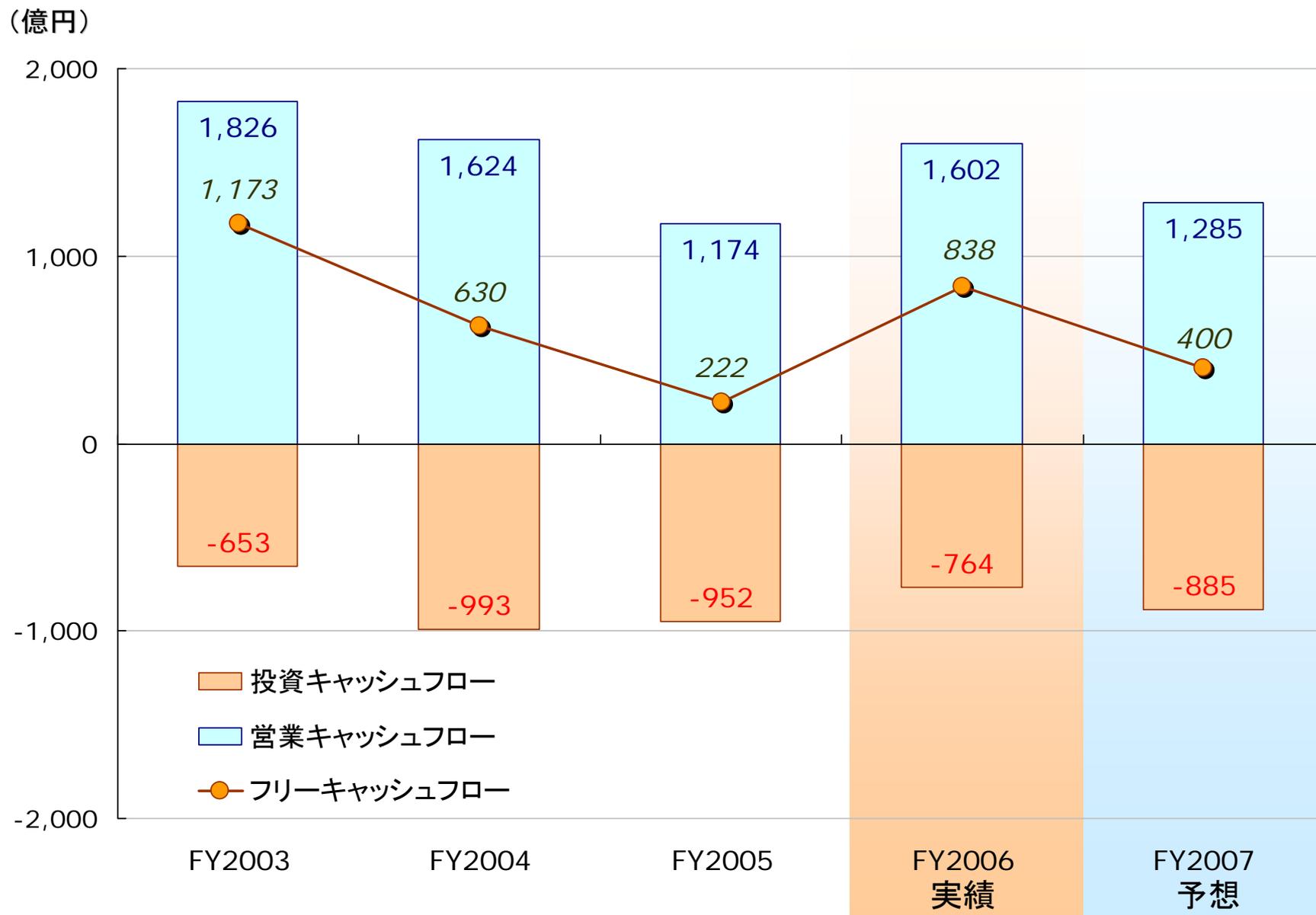


設備投資の主なトピックス

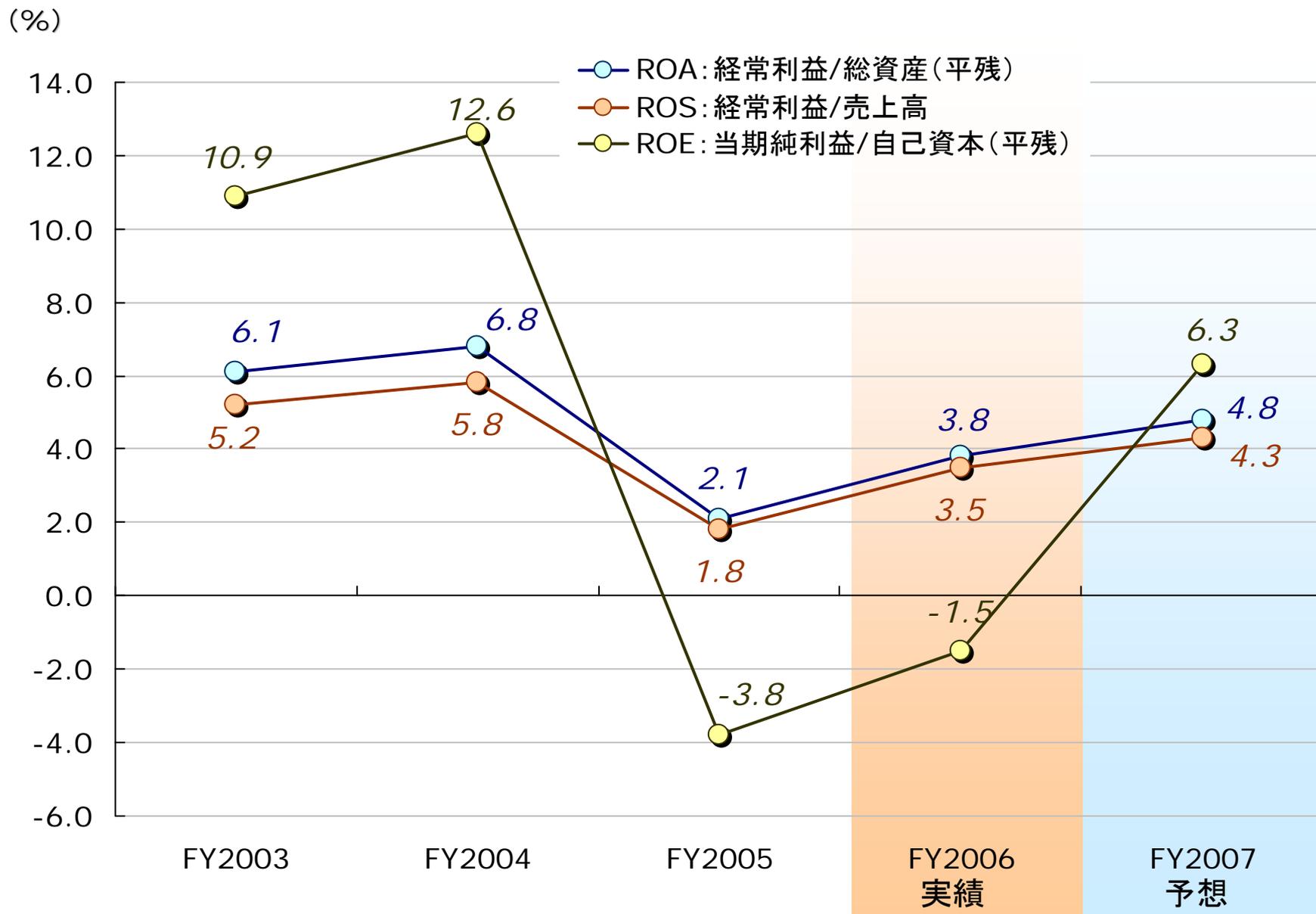
投資戦略: 戦略分野への集中投下

- 完成品事業: 新製品投資
- デバイス事業: 増産対応、整備 など

フリーキャッシュフロー予想



主な経営指標の推移



EPSON
EXCEED YOUR VISION